

1 単元名 みんなでいこう きゅうしょくしつたんけん

2 単元の目標

給食室探検や日常の学校生活でかかわった学校の施設やそこにいる人などに関心を持ち、かかわろうとしている。(関心・意欲・態度)  
給食室探検や学校栄養職員、調理員とかかわる中で、自分が見たり聞いたりしたことを友達や1年生に伝えることができる。(思考・表現)  
活動の中でかかわった人たちが自分たちの食を支えていたことに気付いている。(気付き)

3 単元について

児童は学校での生活に慣れ、1年生が入学してきたことで、2年生としての自覚も芽生え始めている。生活科の学習では、「春さがし」や「野菜を育てよう」など自分から進んで楽しく活動している。本単元は、1年生のときの「学校探検」の発展学習として、「給食室探検」を行うことにした。

実態調査	【平成19年5月30日実施 2年生31人】	
給食室の中を見たことがありますか。		
はい 22人	いいえ 9人	
調理員さんと話をしたことがありますか。		
はい 1人	いいえ 30人	
給食室には、どんな道具がありますか。		
・なべ 27人	・包丁 5人	・まないた 3人
給食室探検の時は、どんな様子を見たいですか。		
・つくっているところ 26人	・道具 5人	
調理員さんには、どんなことを質問したいですか。		
・調理時間 9人	・どうやってつくるのか 6人	
・どんな材料を分かっているのか 5人	・どんな道具を分かっているのか 2人	

アンケートの結果からも分かるように、献立作成や調理に携わる学校栄養職員や調理員は、身近な存在でありながら、仕事の内容については児童にはあまり知られていない。給食は「誰が、どこで、どのようにつくっているのかも分からない」児童がほとんどである。

そこで、給食室の様子を探検したり直接聞いたりすることで調べ活動を進め、最終的には、1年生に伝えることで自分たちの気付きを広げる。本時では探検したときに分かったことや気付いたことを様々な表現方法でまとめる。1年生が遊びながら給食室や働いている人たちのことが理解できるように、「カルタ」「すごろく」「クイズ」「絵あわせ」などの工夫をする。その際、学校栄養職員や調理員にはボランティアティーチャーとして児童の中に入り、質問・疑問に対応してもらおう。ボランティアティーチャーには、児童の興味や関心を大切にしながらかかわってもらえるよう、事前に打ち合わせをしておく。最後に、朝の会の時間などを利用して1年生に伝え、かかわる活動をすることで、給食について感謝する気持ちを深めたり、2年生としての成長を実感できたりすることでまとめたい。

4 指導及び評価の計画 (5時間) 本時は第4時

次	学習活動・内容	評価規準(評価の方法)
1	1年生に教えるために給食室探検をしたり調理員に直接聞いたりする。	関 給食室や調理員の仕事や人に関心を持ち、積極的にかかわろうとしている。(観察・態度)
2	2 調べたことをもとに発見したことや分かったことをカードにまとめる。	思 自分が見たり聞いたりしたことを絵や文章を使ってカードにまとめる。(発表・カード)
	3 グループごとに、自分の方法で分かったことをまとめる。分からないことは栄養職員や調理員に聞いている。(本時)	思 学校栄養職員や調理員に確かめながら、カルタやすごろくなど、自分なりに工夫してまとめる。(発表・作品)
	4 1年生や友達のために発表の練習をし、自分の選んだ方法で伝える。	気 まとめたことを1年生や友達に分かりやすく伝えることで学校には食を支える人たちがいることに気付いている。(発表・作品)

5 本時の指導

(1) 目標

給食室探検で発見したことや分かったことを学校栄養職員や調理員に確かめながら、カルタやすごろくなど、自分なりに工夫してまとめることができる。

(2) 準備・資料

ワークシート，画用紙，模造紙，カラーペン，探検の時の写真，振り返りカード

(3) 展開

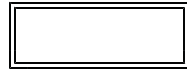
学習活動



指導及び留意点



評価



努力を要する児童への指導及び留意点  
おおむね満足する児童への指導及び留意点

